外山自治会会則

(目的)

第1条 本会は会員相互の親睦を図り、自主的な共同活動により、環境整備等住みよい地域づくりを推進することを目的とする。

(自治会の名称及び事務所)

第2条 本会は、外山自治会と称し、事務所を会長宅に置く。

(自治会の区域)

第3条 本会の区域は、外山集落一円とする。

(会員)

第4条 本会の会員は、第3条に定める区域に住所を有する世帯をもって構成する。

(事業)

第5条 第1条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 十河校区連合自治会の事業に関する事。
- (2) 会員相互の親睦に関する事。
- (3) 会員相互の連絡、広報に関する事。
- (4) 鯉宇神社に関する事。
- (5) 明神社・天満神社に関する事。
- (6) 農家に関する事。
- (7) 地区担当民生委員に関する事。
- (8) 外山集会場管理に関する事。

(入会)

第6条 本会へ入会しようとする者は、会長に入会申込書を届け出て、会員の過半数以上の承認を得る事とし、入会金として10万円を本会に収める。

(退会)

第7条 会員が次の各号のいずれかに該当するときは、退会したものとみなす。

- (1) 住所を区域外へ移したとき。
- (2) 死亡し、世帯に配偶者等引き継ぐ者がいないとき。

(会員の権利義務)

第8条 会員は、次の各号に掲げる権利を有する。

- (1) 本会の各種の事業に参加すること。
 - (2) 会則に基づく役員に就任すること。
- 2 会員は、次の各号に掲げる義務を負う。
- (1) 会費を納入すること。
 - (2) 会則に基づく諸会議に出席すること。
- 3 退会した会員は、納入した会費・入会金の払い戻しを受けることができない。

(役員)

第9条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 1名
- (3) 班長 3名 (南・中・北)
- (4) 自主防災会長 1名 (会長が兼務する)

(役員を選任)

第10条 会長、副会長、班長、自主防災会長は、総会において、会員の中から選任する。

- 2 本会の役員は、持ち回りとする。

(役員の職務)

第11条 役員は、次の職務を行う。

- (1) 会長は、本会を代表し、会務を統括する。
- (2) 会長は、本会の会計事務を処理する。
- (3) 副会長は、会長を補佐し、会長に職務遂行に支障があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代行する。
- (4) 班長は、副会長に職務遂行に支障があるとき又は副会長が欠けたときは、その職務を代行する。
- (5) 班長に職務遂行に支障があるとき又は班長が欠けたときは、次の班の班長が代行する。次の班の考え方は細則に定める。
- (6) 班長は、広報の配布及び会員との連絡調整にあたる。

- (7) 自主防災会長は、本会を代表し、地域防災リーダー研修会・防災訓練等に参加する。自主防災会長に職務遂行に支障があるとき又は自主防災会長が欠けたときは、上記に準じた職務代行を行う。

(役員任期)

第12条 本会の役員任期は1年とする。ただし、再任を妨げない。

(総会)

第13条 総会は、全会員をもって構成する。

2 総会は、定期総会及び臨時総会（常会）とする。

3 定期総会は、毎年3月に開催する。

4 臨時総会（常会）は、会長が必要と認めたとき開催する。

5 総会は、次の事項を審議し、議決する。

(1) 事業計画及び事業報告に関する事

(2) 予算及び収支決算報告に関する事

(3) 役員選任に関する事

(4) 会則の変更に関する事

(5) 本会の運営に関する事

(6) その他重要事項に関する事

6 総会の議長は、会長又は役員がつとめる。

7 総会は、全会員の2分の1以上の出席をもって成立する。前もって口頭にて会長あて委任した会員は、出席したものとみなす。

8 総会の議事は、出席した会員の過半数をもって決する。

9 総会の議事については、会長又は役員が議事録を作成しなければならない。

(経費)

第14条 本会の経費は、会費及び補助金、その他の収入をもってあてる。

(会費)

第15条 本会の会費は、総会時に本会に収める。

2 会費の金額は、総会の議決により定める。

(事業年度及び会計年度)

第16条 本会の事業年度及び会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(慶弔規程・他)

第17条 慶弔に関する規程・他は、別途、細則に定める。

(会員以外ゴミステーション使用規定)

第18条 本会区域内に入居し、会員以外が本会ゴミステーション使用を希望する場合は、維持管理費として毎年2,000円を本会に収める。

附 則

本会則は、外山自治会発足時より施行する。

一部改正 平成18年3月25日

- ・第12条慶弔規程及び第13条会員以外ゴミステーション使用規定を追加。

一部改正 令和3年4月1日

- ・会則の条文の編成を標準的な構成に変更。
- ・旧第4条・第5条を実態に合わせ削除。
- ・第7条退会規定を新設。
- ・第8条会員の権利義務規定を新設。
- ・第9条役員規定で連絡員を役員とし、呼称は班長。
- ・自治会の組織的運営を目的に第11条役員の職務規定を新設。
- ・第13条総会第7項総会成立、第8項議決及び第9項議事録作成の各規定を新設。

外山自治会細則

(十河校区連合自治会の事業)

第1条 会則第5条の(1) 十河校区連合自治会の事業のうち単位自治会に関するものは、以下の通り。

- (1) 校区コミュニティ協議会が行う事業協力に関すること。
- (2) 校区内の広報および情報活動に関すること。
- (3) 校区内の文化教養活動に関すること。
- (4) 校区内の防犯・防災・交通安全活動に関すること。
- (5) 校区内の環境美化活動並びに衛生組合事業に関すること。
- (6) 校区内の社会福祉事業への協力に関すること。
- (7) 校区内の健康増進および体育スポーツ事業に関すること。
- (8) 校区内の河川および道路整備促進に関すること。
- (9) 校区内における災害時の避難支援および自主防災機能に関すること。
- (10) その他、地域のまちづくりに貢献する事業。

(鯉宇神社)

第2条 会則第5条の(4) 鯉宇神社に関しては、外山と円土座で交互に役員理事(任期3年)を選任、これとは別に自治会会員持ち回りで支部長(任期1年、鯉宇神社祭礼関係等)を担当する。

(明神社・天満神社)

第3条 会則第5条の(5) 明神社・天満神社の祭礼運営に関しては、円土座も絡むため、別途、規約を定める。

(農 家)

第4条 会則第5条の(6) 農家に関しては、区域内の17世帯で構成し、下記組織の役員を持ち回りで担当する。ただし、再任を妨げない。なお、今後の水稻情勢の動向次第では、対応につき、検討することとする。

- (1) 十河土地改良区総代(任期4年)
- (2) 外山実行組合長(任期1年)
- (3) J A支店運営委員(任期4年)
- (4) 共済部長(支店運営委員とセットで担当する)

(地区担当民生委員)

第5条 会則第5条の(10) 地区担当民生委員に関しては、外山と檀原で交互に就任する取決めで、令和2年度からは外山が担当、任期は3年、再任は妨げない。

(外山集会場管理)

第6条 会則第5条の(11) 外山集会場に関しては、以下のとおり管理する。

- (1) 電気料金・水道料金は、外山自治会預金通帳より自動引落し。
- (2) 建物共済に加入、掛金は外山自治会預金通帳より自動引落し。
- (3) 会員2名ペアで、毎月、清掃を実施する。
- (4) 自治会事業以外の使用については、自治会長の承認を得る。

(入 会)

第7条 会則第6条(入会)に関しては、平成20年4月1日より摘要。

(役 員)

第8条 会則第9条(3) 班長に関しては、これまでの「連絡員」を役員に昇格させ、名称を「班長」とする。「班分け」は別紙①に定める。

(役員の仕事)

第9条 会則第11条(役員の仕事)に関しては、組織的な職務遂行及び役員の仕事負担を公平かつ軽減する目的で、以下の運営とする。

- (1) 職務遂行に支障があるときは、主に以下の様な比較的短期間の支障をさす。
 - ① 仕事上の勤務時間の制約で職務遂行できないとき。
 - ② 急病や緊急入院で職務遂行できないとき。
 - ③ 家族や身内の慶弔対応で職務遂行できないとき。
- (2) 班長が職務代行するときの順番は、職務遂行に支障のある副会長と同一所属班の班長とするが、その班長に支障があるときは、次の班の班長とする。仮に南班班長に支障あれば、➡中班班長➡北班班長の順番とする。
- (3) 自主防災会長は、自主防災訓練等で複数人の参加が必要なときは、副会長や各班長に動員要請することができる。各役員に支障があり人数が不足するときは、比較的自由な立場にある会員に協力を要請することができる。

(総 会)

第 10 条 会則第 13 条総会 5 (1) 事業計画・事業報告及び (2) 予算・収支決算報告に関しては、原則、会長が報告書等を作成し、総会で報告する。

(休 会)

第 11 条 本会の会員が以下の状態になったときは、会員の過半数以上の承認を得る事とし、休会扱いとする。休会中は、役員は免除されるが、会費は収める。

- (1) 会員及び配偶者が要介護状態となり、介護施設に通所又は入所し、世帯に家族の同居はないが、本区域内に家族が住んでいる。
- (2) (1) に加え、将来、転勤族の家族が戻ってきて会員となることが判明しているときは、戻ってくるまでの期間を休会扱いとする。

(慶弔規程・他)

第 12 条 会則第 17 条慶弔規程・他に関しては、別紙②に定める。

(十河校区コミュニティ協議会構成団体役員)

第 13 条 会長は、十河校区コミュニティ協議会の下記構成団体の役員を兼務する。

- (1) 十河校区女性の会 外山地区役員 (情報・資料等配布)
- (2) 消防団十河分団後援会 理事

(ワーキング)

第 14 条 会長は、本会の会則や本会下部組織の規約等の見直し等重要事項にかかわる検討チーム「ワーキンググループ」を編成し、検討メンバー「ワーキングメンバー」を会員より指名することができる。

(参考情報)

1. 自治会長の主たる職務

- ① 十河校区連合自治会長会議 (※53 自治会) に出席する。会議で配布された資料は、速やかに、回覧用は回覧板にて決まった順番に回覧する。全戸配布用は各班 (南班 8 戸・中班 8 戸・北班 14 戸) の班長宛て必要部数を持参、管下会員宛て配布を依頼する

※十川東町ブロック 17、十川西町ブロック 17、亀田南町ブロック 10、小村町ブロック 9

- ②ゴミステーションの残置ゴミ袋のチェックし、分別ゴミの収集日誤りは持帰り規定日に搬入する。必要に応じ、預かった自治会所有のほうき・塵取りで清掃を実施する。
- ③自治会区域内市道で道路陥没等危険個所を発見、又は会員より通報を受けた際は、交通安全確保のため市役所道路管理課（TEL087-839-2515）宛て連絡、早急の補修を依頼する。
- ④会員より防犯灯設置要請を受けたら、十河コミセンセンター長に相談所定の「防犯灯設置希望の申込書」を貰い、必要事項を記入の上、十河コミセンセンター長宛て提出する。その旨回覧板で会員宛て周知する。設置可否は後日連絡が来るが、最寄りの防犯灯からおおよそ30m以上離れていること、また設置柱はNTT柱より四電柱がベスト、有線柱は設置出来ない。設置許可が出ると「防犯灯設置同意書」に防犯灯設置柱周辺会員から署名捺印を取付け、十河コミセンセンター長宛て提出する。また、不点灯防犯灯を発見又は通報を受けた場合は、担当業者に連絡する。
- ⑤会員に不祝儀が発生した場合は、喪主に連絡を取り葬儀の日時、形式、会場を確認し、会員宛て班長を通して連絡する。必要に応じ、宮本県会議員、神内市会議員には会長が連絡する。各班長は管下会員からお香典1,000円を集金し、会長宛て手渡す。会長はお香典を持参、葬儀に参列する。代表焼香をすることもある。円土座の不祝儀は、通夜は参列せず、葬送の儀(告別式)のみ参列、コロナ禍での葬送の儀では、葬儀社が参列者人数制限を設け、直近では、親族以外では自治会長のみ参列。
- ⑥敬老祝賀案内状を対象会員宛てポスティングする。本来、地区民生委員の担当業務でしたが、対象者が増加した為令和元年より自治会長が担当することになった。
- ⑦連合自治会主催の毎年（8、10）月に実施している校区クリーン清掃活動のどちらかに参加する。

附 則

本細則は、会則を補足補完する目的で、令和3年4月1日より施行する。